

日本国際文化学会第10回全国大会 自由論題および共通論題プログラム

2011年7月2日

9:00~11:00 自由論題

自由論題1

司会 発表	所属	論題
与那覇恵子 (名桜大学)		
河原清志	立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科博士後期課程	字幕翻訳における文化的要素の翻訳ストラテジー
関根理恵	国立民族学博物館	A study of the Policies and Activities for Cultural Heritage Protection during World War II
水野真木子	金城学院大学文学部教授	要通訳裁判での訳出における異文化問題と裁判員への影響について

自由論題2

司会 発表	所属	論題
川村陶子 (成蹊大学)		
角田 和広	明治大学大学院 政治経済学研究科 政治学専攻 博士後期課程	イギリス国際政治学者の秩序認識—力、法、慣例に焦点をあてて
上品一馬	早稲田大学「太平洋問題調査会」研究所客員研究員	パブリック・ディプロマシーを考える—鶴見祐輔の活動を中心に
川村陶子	成蹊大学文学部国際文化学科 准教授	文化的多様性と向き合うドイツ—「ザラツィン論争」を手がかりに (仮)

自由論題3

司会 発表	所属	論題
松居竜五 (龍谷大学)		
安田 忠典	関西大学人間健康学部	神社社会反対運動における南方熊楠の視点—自然保護以外の要素に着目して—
大庭 弘継	南山大学総合政策学部	存在証明というアンチノミー (二律背反) —「国際共同体」を論じるための条件
松居竜五	龍谷大学国際文化学部准教授	映画「戦場のメリークリスマス」とその背景

自由論題4 名桜大学国際文化教育学系による特別セッション「名護市からの文化発信」(準備中)

司会 発表	所属	論題

11:15~13:15 共通論題プログラム

共通論題1: ワークショップ—地域に根ざした食文化の創造

司会 発表	所属	論題
横川 潤	文教大学国際学部准教授	基調報告: 食のグローバル化とは異なる角度からの食文化創造の試みについて
横川ゼミ学生チーム	文教大学国際学部	実践報告: 文教大学横川ゼミ+(株)濱田屋+茅ヶ崎市農家による「茅ヶ崎文教弁当」商品開発の試み
道畑 美希	東洋大学国際地域学部国際観光学科講師	コメント: レストランマネジメント、メニュープランニング、地域産品のマーケティング、ブランディング、等の視点から

共通論題2：変容する国際秩序と文化の展開

司会 発表	富川 尚 (敬和学園大学)	所属	論題
富川 尚	敬和学園大学人文学部准教授		変容する国際秩序と文化の展開
山本 直	北九州市立大学准教授		E Uにおける「人権文化」の醸成と現実
伊藤 豊	山形大学准教授		移民同化論の肯定的考察
馬原 潤二	同志社大学助教		欧州統合時代のドイツ・ナショナリズム——憲法愛国主義と文化愛国主義との相克

2011年7月3日

9:00~11:00 自由論題

自由論題5

司会 発表	寺田 元一 (名古屋市立大学)	所属	論題
本多 善	龍谷大学大学院国際文化研究科 博士課程後期		ジャパニーズ・アメリカンとディアスポラ
金 英美	法政大学大学院 国際日本学 研究科 博士課程後期2年		戦後日本におけるキリスト教系大学の数量的変容
渋谷鎮明	中部大学国際関係学部・教授		韓国のガイドブックに見る東京の観光空間—「ドラマイン東京」「マニアック東京」の特別な場所

自由論題6

司会 発表	木下 資一 (神戸大学)	所属	論題
張晟喜 (ジャン ソンヒ)	法政大学院・国際文化研究科 博士後期課程2年		「歌い継がれる童謡 —まど・みちおと尹石重の作品を手がかりに—」
大山万里子	龍谷大学大学院国際文化研究科博士後期課程		北海道におけるアイヌ学習の現状
小西正雄	鳴門教育大学大学院教授		国語教材『温かいスープ』にみる国際性の語り

自由論題7

司会 発表	植野 雄司 (ブール学院大学)	所属	論題
堤 ひろゆき	東京大学大学院教育学研究科 博士課程		旧制中学校における「校友」共同体形成とメディアとしての校友会雑誌の役割——運動部活動の記述と校友の条件から——
小椋千裕	筑波大学大学院人文社会科学研究科国際公共政策専攻後期		「サッカーという名の戦争」—W杯予選を巡るエジプトとアルジェリアの騒動をてがかりに—
井田頼子	東京大学大学院教育学研究科博士課程		「コミュニティ」と「ネットワーク」からとらえた帰国生の境界

自由論題8

司会 発表	若林 一平 (文教大学)	所属	論題
若林 一平	文教大学国際学部教授		核の文化とフクシマ
奥田 孝晴	文教大学国際学部教授		テニアンからフクシマへ—ブルトニウムロードの向こうにあるもの
川村 湊	法政大学国際文化学部教授		原発と原爆の文化学—ヒロシマ・ナガサキ・フクシマ—